

○平成 30 年度地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

「みんなでバスケ！」(H31.2.9 (土) ~10 (日))



◆目的

- ・バスケットボールをとおして交流を深め、協調性や技術向上を図る。
- ・冬季は子どもたちの運動する機会が減るため、運動不足の解消を促す。

◆参加実績

参加総数 33名 (男14名 女19名)

(学年内訳)	3年生	11名
	4年生	15名
	5年生	2名
	6年生	5名

(地域内訳)	旭川市	22名
	東川町	5名
	鷹栖町	4名
	富良野市	1名
	上富良野町	1名

(経験内訳)	経験者	25名
	初心者	8名



◆プログラム

【1日目】

①「ゲーム観戦」

- ・事業ボランティアとして参加する高校女子バスケットボール部員の練習試合を観戦した。

②「ポイントレッスン・ミニゲーム」

- ・準備体操の後、高校生部員からうまくなるためのアドバイスや指導を受けたり、一緒にゲームをしたりした。

③「フリースロー大会」

- ・遊び感覚でバスケットボールを楽しみ、入賞者には、メダルが授与された。



【2日目】

④「大雪青少年交流の家カップバスケットボール大会」

- ・4チームに分かれてトーナメント戦を行い、高校生から、チームごとに表彰を受けた。



◆成果

- ①高校の部活道顧問や部員からの指導や助言をとおり、バスケットボールの技術や体力の向上が図れた。
- ②同年代の参加者との集団生活により、他校の参加者との交流が深まった。
- ③高校生ボランティアにとっては、今回の経験をとおして、今後の部活動への取り組み方や、将来の進路について考える機会となった。

◆参加者の声

- ・高校生の試合を初めて見て、すごかった。迫力があって、カッコよかった。とても上手でビックリした！
- ・いろんなミニゲームをやって、楽しかった。全部、おもしろかった。
- ・シュートは入らなかったけど、みんなと協力して楽しくバスケットボール大会ができて良かった。
- ・2日とも、いい練習ができてよかったし、友達もたくさん作れたので良かった。
- ・やりがいがあって、楽しかった。もう1回あったら、参加したい。

◆事業運営のツボ・工夫・反省

- ・バスケットボールの運動特性や魅力を熟知した高校部活動の顧問及び部員の協力を得て事業を行ったことで、申込時から期待を寄せていた参加者が多く、実際の事業内容も参加者の満足感の高いものとなった。
- ・今回の様に、高校生ボランティアが、スポーツなどの自分が得意なことを教えるという内容は、高校生にとっても自己肯定感やコミュニケーション能力の向上につながり、今後の各事業企画にも生かせる例である。

◆事業運営費

・講師謝金	45,580円
・印刷代	25,402円
・用品代（バスケットボール他）	30,132円
合計	101,114円

